

木栄会通信

九州木材市場連合会

実務者会議

レポート

去る2月18日に九州木材市場連合会の実務者会議が開催されました。今回は九州各県より参加した原木・製成品市場の最前線で販売している実務者の近況報告します。

・九市連多田会長挨拶：年明けから日田の原木市場を訪問した。ヒノキ相場は強い、スギは横ばい。天候の影響もあり。製品においては4号特例の縮小もどこのくらい影響が有るかまだ不確定。

木材市場の役割は人と情報だと思っている。需要については我々がどうすることもできないが情報発信は必要。和歌山県の木材会社に訪問する機会がありいろいろと見させていた。事業として山林保有、プレカットを行っている。原木径級が大きくなり製材に苦戦している。

そういった大径材などを木質化の用途に、市場の枠を超えて考えていかなければならない。これからホワイトカラーの仕事は減ってくる。情報発信についても今はネットで情報を簡単に入手できる。

チャットGTPなどAIを利用して効

率的に発信していかなければならない。

・原木部会長挨拶：原木は製品と比較し順調に売れている。ヒノキ高値、スギ安定。雪の影響で今後の出材が不安ではある。原木価格はこの状況が続くのではないかとみている。

しつかり集める事で売り上げ確保ができると思う。製品の価格を少しでも上げてもらおうという雰囲気を作りたい。

・製品部会長挨拶：製品は非常に厳しい状況となっている。ウッドショック後不安定な状況が続いている。4号特例の縮小により駆け込みも見られる。輸入材の状況が価格転嫁も見られるが実物件が少ない。

・建材商品含め価格が上がっている中で製品の厳しい状況は今後も続くと思われる。無等級材の扱いをどう考えているかを会員の皆さんに聞いてみたい。

●原木各市場状況

・A市場：2月まで天候の影響で入荷は減っている。山主さんは休みも増えていることも要因としてある。単価面はヒ

3月号
Vol.140

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木栄会事務局

〒八四九-0252

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番二〇

TEL 〇九五五-二〇二二八三 (代表)

FAX 〇九五五-一八一二八五五

ノキ高値、スギ安定で集めれば売れる。先もこの状況が続く。

・B市場：本日市況。スギ1,500円上がり平均13,500円、ヒノキ20,000円超え。入荷が少なく価格高値。輸出8cm上を山から直送の依頼があり、月8,000mは維持している。山の作業班に資金がないため市場でリースしている。

・C市場：天候の影響で入荷少ない。離島からの船便が人員不測の為入荷が減ってきている。運送を含めて人員不足が課題。価格はシステム販売が中心で安定している。

・D市場：雪の影響で1,000mほどは一市で減っている。5,000mほどが入市の入荷量である。休日を増やしていく事を会社として考えている。入荷が増えれば休日出勤とする。

●製品

・E市場：昨年1月、動きが良くなってきたが2月に入り落ちてきた。在庫が増加傾向。間柱、柱の引き合いは強い。3月、5月にかけて荷動きに期待しているが製材所からの値上げ要請が4,000円、5,000円であるため、販売につながらるか不安。

・F市場：E市場と同じような状況。市は当用買いが目立つ。耳川森林組合が製材をやめたことで集荷に苦戦している。集荷営業に力を入れていて製材工場は既存出荷先がほぼ決まっているため厳しい。月3回の市に対しての集荷が難しくなっている。

・G市場：販売量は大きく落ちていない。B材がメインで売れていた。A材が売れないためB材の集荷に苦戦。1月から市の回数を変更し3回を2回にしたが販売量の落ち込みは見られない。規模の小さい製材工場や販売店からは廃業したい、との声も聞かれる。

・H市場：販売量は横ばい。柱、間柱関係の販売は強い。新しい取り組みとして請求書の電子化を取り入れた。社員への負担軽減につながっている。

・I市場：製品動向は変わらず。地方都市部の格差が開いてきている。地元建設関係はかなり厳しい。プレカット物件を奪い合いとなっている。価格競争が激しいため値上げが通りにくくなっている。1月以降プレカット見積もり件数も減っている。

・J市場：売り上げ若干減少している。規模の小さい販売先の与信が厳しいこ



とで販売が落ちている。社内的には量が減っているので完全適休2日にした。

原木と製品市場での市況に対する見方は異なると思うんですが、ここに来て地域間でも大きな差ができてきていることを感じました。見通しが難しい時間帯ですが情報共有をうまく行いながらの運営を心掛けたいと思います。

(経営課部長 Y)

◎素材

2月全社素材取扱量は45,400m³前年対比97%の取扱いとなりました。

2月は10年に1度の寒波が訪れ、九州地方でも積雪により山から搬出ができず集荷に苦戦する事となりましたが、月後半になると一気に出材が増え結果的に未整理材を多く残してしまいました。出荷者様へ迷惑をお掛けしてしまいました。

丸太動向として九州各地の出材は増えていますが寒波の影響もあり、材不足になるのでは心配があり買いが強かった印象でした。

市売価格として

松丸太は、4中16-18cm 直 24, 460円/m³ 4中16-18cm 小曲 23,500円/m³ 4中20-22cm 直 24,620円/m³ 4中20-22cm 小曲 23,300円/m³でした。

木材動向①

杉丸太は、4中14-16cm 直 16, 000円/m³ 4中18-22cm 直 15, 000円/m³ 4中18-22cm 小曲 13,000円/m³ 4中24-28cm 直 15,000円/m³ 4中24-28cm 小曲 13,000円/m³でした。

杉丸太価格は安定しております。

3月の出材状況は先月並みを見込んでおりますが、気温も暖かくなる事で出荷量が増える事に期待しております。価格は引き続き好調を維持していくと予想されますので、出荷様におかれましては多量の出荷をお待ちしております。

引き続き3月28日市に向けて準備を行って参りますので、来市のほどお待ちしております。

また、4月1日に福岡・大分合同市28日に木栄会協賛特別市を予定しております。4月の記念市に向けての準備を進めて参りますのであわせてよろしくお願い致します！

造材につきまして杉松ともに基本的な4巾をおすすめしております。未だ余尺の長短がございます。余尺10cm程度での造材をお願いいたします。

優良材の元木については余尺が+20cm-30cmつけた方が販売しやすいので、協力のほどよろしくお願いいたします。

造材について不明な点などございましたら素材部へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

素材部一同、安定供給、安定販売に努めます。

めてまいりますのでより一層のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(本社素材課長 T課長)

◎製品

製材工場の稼働率は若干上昇しており、公共物件の工事受注等で荷の動きが出てきました。しかし、木材、建材とも戸建住宅向けの不振が続いている状況です。輸入製品や合板は在庫調整が進み、年末に底入れした模様であるが、実需は弱く市況の盛り上がりにはつながっていません。ヒノキ材産地では構造物の値上げが提示され、従来価格での集荷は困難になっております。ただし手当は慎重になっており、価格は据え置きになっています。

◎2月の当市場の相場は

ヒノキGR土台1等上4m105X105 55,000円/m³ 63,000円/m³ (前月比横ばい) ヒノキGR土台1等上4m120X120 55,000円/m³ 63,000円/m³ (前月比横ばい) ヒノキGR土台4A4m105X105 80,000円/m³ (前月比横ばい) ヒノキGR土台4A4m105X105 80,000円/m³ (前月比横ばい)

スギGR母屋角1等上38,000円/m³ 40,000円/m³ (前月比横ばい) スギKD母屋角特1 65,000円/m³ 68,000円/m³ (前月比横ばい) スギGR平角特1 4m105X150-180 (120厚同) 40,000円/m³ 42,000円/m³ (前月比横ばい) スギKD平角特1

4m105X150-180 (120厚同) 67,000円/m³ 72,000円/m³ (前月比横ばい) スギGR小割(30X45, 45X45, 45X60) 特1ブレナ148,000円/m³ 53,000円/m³ (前月比横ばい) スギGR間柱(30X105, 45X105) 特1ブレナ152,000円/m³ 58,000円/m³ (前月比横ばい) スギ野地板2m12X小幅33,000円/m³ 36,000円/m³ (前月比横ばい) スギKD柱3m105X105 A品72,000円/m³ (前月比横ばい) スギKD間柱(30X105, 45X105) 72,000円/m³ 75,000円/m³ (前月比横ばい) スギAD間柱(30X105, 45X105) 64,000円/m³ 66,000円/m³ (前月比横ばい) スギKD小割(30X45, 45X45, 45X60) 68,000円/m³ 75,000円/m³ (前月比横ばい) となっております。

北洋材、欧州材に少し値上がりの気配があり、国産材も値上げ傾向が予測されております。製材在庫は間柱、母屋野地板等の在庫が少なく、柱等は動きが鈍くなっています。最後になりますが、昨年まで木栄会協賛特別市は8月末に行っておりましたが、今年度から4月28日(月)に開催する事になりました。是非とも御来市の程を宜しくお願い致します。

(製建設 U)



木のやうに、きーん！とへんやうへんやう

伊万里木材市場

http://www.imarimokuzai.co.jp imamoku@imarimokuzai.co.jp

2025年 3月 12日 (水)

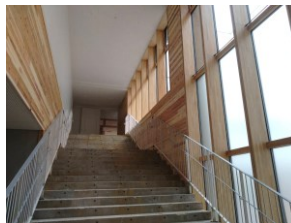


〈営業所だより〉
福岡営業所

ようやく、春の訪れを感じとれるような陽気となりました。それどころか3月2日には宮崎市内で27℃

の夏日を記録するなど今年の夏も猛暑となるのかと異常気象を嘆くような気温もなっています。報道では今年はず年の二倍とも言われている花粉の時期でもあります。皆様のようにお過ごしでしょうか。福岡営業所のある添田町では昨年12月、今年に入り1月、2月と、ここ数年なかった積雪に見舞われ、通勤の支障、山からの出材に影響するなどの被害がでました。積雪の影響により原木の相場も高騰から、さらに高騰をみせており、ウッドショック以降多少落ち着きをみせていた相場もウッドショックの頃を彷彿とさせる相場になっていきます。個人的には1月の積雪

りますが福岡営業所において記念市を開催する運びとなりました。狭い市場ではあります。元ウッドリーの製材棟などを活用しながら、極力、多くの材を選別したいと思



います。午後からの開催ということで昼食の準備をし、皆様をお待ちします。で、お引き合わせの上おいでいただきたく思います。さて、前回の木栄会通信で紹介いたしました添田町小中一貫校が完成いたしました。外観では分かり辛いです。内装には各所ふんだんに木材が使用されており暖かみのある校舎となっています。

〈福岡営業所 K所長〉

福岡・大分合同市

令和7年4月11日(金)

(株)伊万里木材市場
場所:福岡営業所
開市:13時30分~
受付:12時~
(お弁当配付します!)

〒824-0604 福岡県田川郡添田町野田1927
TEL 0947-82-5010 FAX 0947-82-5011



〈森林整備だより〉
南九州営業所から

昨年1月に入社し、早くも1年と少し経ちました。前職では造林保育をやっており、植栽・下刈り等をメインに作業を行ってまいりました。自分が造林を始めた6年前はまだ今よりも再造林に対する周りの意識が林業関係者を含めてかなり低かった印象です。

挙げていくとキリがないのですが、造林は経費だからと単価を下げられ、今では考えられないような単価で作業を行っており、再造林は木を伐れない人がする下つ端の仕事と言われたり、下刈現場ではスギが10m程ある雑木に埋もれていたり、現場完了後1日あたり1人2反歩刈れているから単価を半額にしたいと言われたこともありました。そこから時が経ち、自分の周りだけかもしれないが徐々に再造林に対する意識も高まり、当時と今では補助額も違うと思うのですが、作業単価も1.5倍〜2倍になりました。前社社長の頑張りや当時再造林専門の若手の事業体が多かった事から、新聞の連載やテレビ、専門誌の取材等たくさん

の人に見ていただける機会もあり、県内では注目されることが増え、作業少オリテイに関しても、かなり注力して作業を行ってまいりました。

そのお陰で伊万里木材市場に入社後、測量や地拵、植栽・下刈りの指導

など、作業に関しては森林整備課での業務に前職の経験が活かせております。反面、補助申請のしつみや種類、補助金額の算出など同じ造林保育事業でも見えてくるものが今までとは違い、多くのコストがかかっていることを知りました。伐採面でも立木の材積や直小曲等の見方、搬出機械の種類、搬出道路の幅員と山の規模による事業体の選定、作業道の幅員や入れ方等、伐採に関しても知識がなかったため覚える事ばかりであり、今まで林業界全体の一側面しか見えていなかったと実感いたしました。

営業面でも、言葉遣いやお客様から質問をいただいた時にすぐ答えられるよう今後も日々勉強をし、広い視野を持つて営業や事業体との連携を行い、何に対してもレスポンスを速く、円滑に物事を進めていけるよう努めたいと思います。林業界に入つてまだ10年も経っていない若輩者ですが、森林に興味のない人たちにも興味をもつていただけるような業界になっていけるよう、そして自分が林業界に入つたきっかけになった造林保育の環境が少しでも良くなるよう携わっていきたいと思ひます。

(南九州 森林整備部 I)



木材動向②

住宅着工統計

2025年2月28日発表
1月分／出典：(株)山田事務所

◆ 概況とコメント

設住宅着工は、
持家・貸家・分譲
住宅が減少した

■ 全国工法別

	木造	在来	2×4	木質ﾌﾟﾘﾊﾞｯﾄ
戸数	29,463	22,220	6,450	798

前年同月比	-7.2%	-8.3%	-6.0%	17.7%
造が7.2	●	○	△	□
同月比で	と、前	工法別	減少とな	で前年同
7.2%	木	に比べ	った。ま	ため全
		2%の減	節調整	
		は前月	率換算	
		となった。	値	

■ 全国利用関係別

	合 計	持 家	賃 家	分 譲		
				全分譲	マンション	戸建
戸 数	56,134	13,525	24,387	17,899	9,051	8,715
前年同月比	-4.6%	-8.6%	-1.2%	-6.0%	0.3%	-11.7%

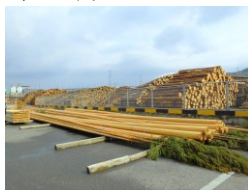
減、在来軸組が、8.3%減、ツーバイフ
ォーが6.0%減、木質プレハブが、17
7%増となった。

◆九州地区と佐賀県、長崎県の新設住宅着工戸数について

● 令和7年1月九州地区の新設住宅着工戸数は、5,905戸(前年同月比で9.2%減)、佐賀県311戸(前年同月比14.1%減)、長崎県254戸(前年同月比16.8%減)といずれも減少傾向となった。

のぼり竿販売／

今年ものぼり竿の時期がやってまいりました。5月5日のこどもの日に向けて、鯉のぼり用の竿はいかがでしようか？当社では現在のぼり材の注文を承っており、2月末より入荷が始まっております。鯉のぼりには子供たちの成長を願い、健康で元気に育ってほしい、出世魚にあやかつて将来を願うなどの意味が込められているそうです。會員の皆様のお孫さん、ご子息さま向けにもぜひご利用下さい。



編集後記

◎ 春の風物詩といわれる野焼き。初春の季節でもあり、昔から行われていた行事だが、この頃の気候の変化で、かなり慎重、緊張を要するものとなっている。例年通りでいけば2月に行われていた平尾台の野焼きも、強風や濃霧のため2回の延期を経て9日に行われた。野焼きは、草原を維持・再生したり害虫を駆除したり、土壌を改良したりする目的で行われるとのこと。これまでの日本の風土、湿度があつて昔から行われてきたのだと思う。

調べてみると、日本での山林火災は、長期的には減少傾向で推移しているらしい。平成30年と令和4年の平均で見ると、1年間に約1.3千件発生し、焼損面積は約7百ヘクタール、損害額は

と全国で毎日約４件の山火事が発生し、約２・４億円（これを１日あたりにする）の損害が生じていることになるらしい。２００３年被害面積の一番大きかったのは北海道知床の森林火災で、約１・２０ヘクタール。９日によやく鎮圧が発表された大船渡の山林火災は、焼失面積約２，９００ヘクタールと今までとまったく違った規模になっている。ちなみに、今年一月のロサンゼルス火災はほかに、焼失面積約４万エーカー、ヘクタールに換算すると、約１６，０００ヘクタール、規模が違ひ過ぎて、よくわからないが、日本では自然発火による山林火災はゼロに近いらしい。林野庁によると、山火事のほとんどは人間の不注意によって起きているとのこと。キャンプで焚火とか…細心の注意を払おう！

3月の市日のご案内
3月28日(金)



4月の市日のご案内
4月11日(金)13:30開市
福岡・大分合同市
4月28日(月)
木栄会協賛特別市

佐賀県伊万里市山代町楠久津145番3
TEL 0955-20-2183 FAX 0955-28-285
ホームページ <https://www.imarimokuzai.co>